

# 大成功！

1日限りの野外レストラン

# うまいもの大島町

10月1日(日)に加茂川河川敷特設会場(諏訪橋〜西宮橋間の左岸側)にて開催した『うまいもの大島町』の様子が10月5日(木)付けの越後ジャーナルに掲載されました。  
このイベントは、加茂市の友好都市である東京都大島町の特産品を販売し経済交流を図ろうと当所青年部が企画運営したものです。当日は、大島名物の「くさや」や「明日葉」、島の焼酎を販売し、焼きたての「うまいもの」とお酒を堪能していただきました。

大勢のご来場  
ありがとう  
ございました

## 「島のごちそう」に舌鼓

加茂商工会議所

初の試み、「うまいもの大島町」に手応え

加茂市と姉妹都市の東京都大島町の「食」をPRする「うまいもの大島町」が、一日午前十一時から加茂川河川敷特設会場で開催された。



加茂市と姉妹都市の東京都大島町の「食」をPRする「うまいもの大島町」が、一日午前十一時から加茂川河川敷特設会場で開催された。

加茂商工会議所(太田明会頭)主催、同商工会議所青年部と女性のメンバールが行い、「焼き方にコツがある」というくさやに明会長(阿部画・運営)が担当した。大島町の特産品を広く周知するとともに、経済交流を深めようと初めて開催したもので、名物のくさや(トビウオやムロアジ)とアシタバのてんぷらをはじめ、魚のすり身とアシタバを練った波浮天(はぶてん)炙(あぶ)り、大島町で獲れたイセエビで出汁(だし)をとったあら汁、



また、販売・調理を行うテントの近くに、イスやテーブルなどを設置して「野外レストラン」に、加茂川を臨み、揚げたてのアシタバのてんぷらや、アツアツのあら汁など「島のごちそう」に舌

鼓を打ちながら、会話を楽しみ、会場には開始前から大勢の人出、七十点ほど用意したくさやは、一時間もしないうちに完売するほどの人気ぶりです。午後零時三十分ころに買いに来て、「もう、売り切れてしまったんですね」と残念がる人もいました。



同イベントについて阿部会長は、「特産品の天ぷらが評判で、本当にやってみるとよかった。(大島町の)特産品をPRできたと思う」と手応えをにじませつつ、継続的な実施と、他のイベントとのコラボに意欲的な姿勢を示していた。

また、大島商工会の職員は、「こんなに反響があるとは、もっと(特産品)を持ってくればよかった」と、驚きと喜びが入り混じった表情で話していた。(山口)

